

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024 年 12 月 13 日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう高木2組	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4	1	0	・13人(利用者)を超えたあたりから狭さを感じる。 ・利用人数が多い時の室内活動は2グループに分けるなどして工夫できている。
	②	職員の配置は適切である	1	3	1	・待遇改善を図り、職員の定着度を上げる。 ・人員不足ではあるが、対応方法などミーティングなどで話し、支援している。
	③	衛生面の管理が行き届いている	4	1	0	・学習室の紺色の絨毯のクリーニング、または、張り替えを検討。 ・2学期に入ってから手洗い場の紙コップの減りが遅い気がしている。熱を測るだけでなく、手洗いうがいもしっかり見届ける。 ・毎日利用児童が帰った後には消毒液での拭き上げもできている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	0	・入社時に決めた目標や、声掛けなど工夫できるときもあるが、常にできているわけではないため、意識していきたい。 ・職員によりばらつきはあるが、声掛けなどでこまめにフォローする。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	・カンファレンスで結果を共有し、次の支援に活かしている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4	1	0	・ホームページでの公表をしている。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	5	0	0	・定期的な全体研修に参加したり、教室内でのケアカンファレンスでの情報共有等できていると思う。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4	1	0	・支援の中で子どもたちから出る言葉や、行動、保護者様からの話の共有、記録記入等行えていると思う。 ・モニタリングでこまめにニーズを拾い上げ、目標に反映している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5	0	0	・朝のミーティングで活動内容や配置など決めている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4	1	0	・毎日の室内活動では、なるべく前週と重ならないよう考えている。 ・案を出し合い、マンネリ化しないよう努めている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4	1	0	・1人ひとりの課題だけでなく、1日の状況についても、考慮して支援していきたい。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	3	2	0	・基本集団活動がメインだが、入れない児童には促したり、個別対応もしている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	0	・分担をせず、臨機応変に進めなければならないこと、分担した方がよいこと、その点の認識が職員間で違うのではないかと感じている。 ・朝礼時や子どもが来る時間までに、その日の活動決めや、どの職員が遅く来る子の対応をするかを話している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	・全体を見ることができない場合には、パート職員に様子の書き出しをお願いして、正しくコドモンや記録が書けるようにしている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1	0	・ケアカンファレンスでモニタリングでの話を聞いて、全体で子どもの状況と目標を照らし合わせている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	3	2	0	・概ね網羅できているが、まだ工夫の余地はある。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校迎え時など、時間に大きくずれが出そうなどときには、管理者に連絡するなど、分からないことなどは早めに連絡をするようにしている。 ・イレギュラーな対応が遅れてしまうこともあるが、全員でフォローを入れつつ進めている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・全員は把握しきれないこともあるが、保護者様からこまめにお聞きしている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・該当児童がいれば行いたい。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・直接的な連携はないが、検査結果等を保護者からいただき、その周知やその結果に基づいた計画の見直しなどを行う。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送り時や、保護者の迎えの際に、その日何をしたのかや声掛けに対しての行動など伝えるようにしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ご契約時に説明をしている。 ・保護者様から質問を受けた際には、一度持ち帰って管理者に伝えている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・助言などはできていないが、聞いた話に関しては職員と共有している。 ・例を挙げながらできるだけ保護者様に分かりやすく助言をさせてもらっている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内でおしゃべり会を行う予定となっている。 ・コロナ明けで久々に行うことができているので、今後も定期的に行いたい。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・直接受けたことはないが、事業所内で、共有・対応できていると思う。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆめだよりや夢通信など、予定や様子が分かるものを渡すことができている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報のは鍵付きの書庫で保管し、保護を徹底している。肖像権等もWチェックをして管理表を作成している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	0	
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうゆう祭りなど、利用者や周辺地域住民等に来てもらえる行事が行われている。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5	0	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズなども取り入れながら、避難訓練を行うことができている。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修で虐待についてのものがあり、その研修を受けている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・該当児童はいないが、身体拘束が必要な可能性があれば適切な流れを踏み行っていく。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・与薬表はダブルチェックでサインをしている。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	2	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記入用紙の場所が分かりにくかったため改善をする。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の中でできていること、できていないこと、まだやったことのない項目もあったため、今できていること、そうでない部分も改めて意識しようと思う。 						